

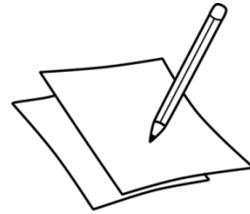
社会福祉の歴史 2



慈善組織協会と セツルメントの源流

はじめに

前回までの振り返り



✓ エンクロージャー

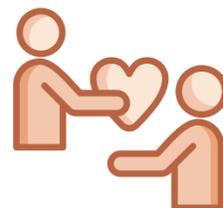


✓ エリザベス救貧法

✓ ギルバート法とスピーナムランド制度

✓ 新救貧法

非人道的 → 人道的 → 非人道的



POINT



はじめに

自分なりの職業観を養おう！

<目次>

- 慈善組織協会（COS）
- セツルメント
- ブースとラウントリーの貧困調査



慈善組織協会（COS）

新救貧法のその後

➡ 多くの労働者と家族が劣悪な環境で生活

➡ 各地で反対運動や組合運動



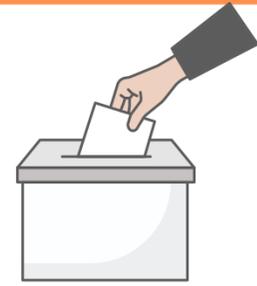
<代表例>

- ・ チャーターティスト運動
- ・ ロッチデール

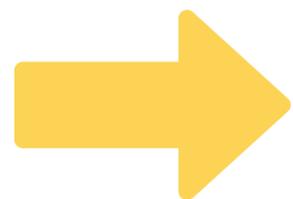


慈善組織協会 (COS)

チャーティスト運動

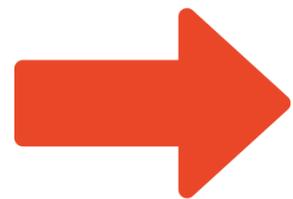


- 労働者階級が中心
- 普通選挙権をはじめとする権利の獲得
- 全国的な署名活動やデモ

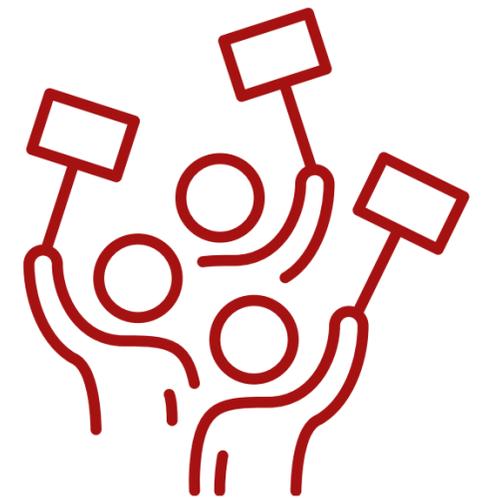


RESULT

実現には至らず



社会改革への機運が高まる

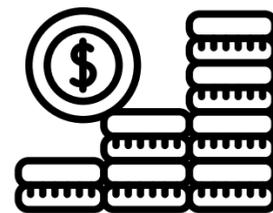
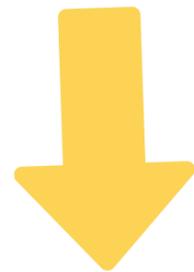


慈善組織協会 (COS)

ロッチデール公正先駆者組合

- ・ 協同組合 (生協) のはじまり

当時：不正な価格で商品を販売



28人でお金を毎月積み立て



適正価格

小さなお店をはじめる → 世界中へ



慈善組織協会 (COS)

慈善団体

生活困窮者救済協会 (S.R.D)

首都訪問救済協会

地方出身者友の会

乞食抑圧協会

石炭・パンのクラブ、スープレキッチンなど



民間が中心

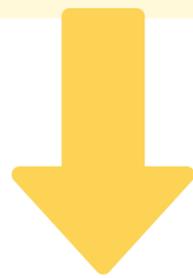


慈善組織協会 (COS)

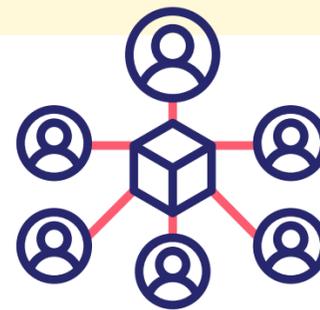
慈善団体による活動の課題

それぞれ独立で活動していたため

救済が重複されることがあった **課題**



組織化



慈善組織協会

Charity Organisation society

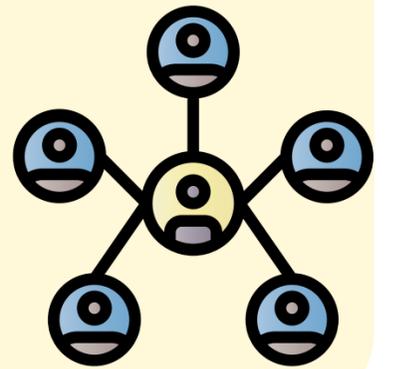


慈善組織協会（COS）

慈善組織協会



慈善団体を組織化することで
救済の重複の防止や連絡調整を図る



ケースワークの源流



慈善機関の登録 会計監査 ケース登録 地区委員会
訪問活動の組織化 申請受付 調査

慈善組織協会 (COS)

慈善組織協会



性質：選別主義

- ・ 救済に値する貧民 → 救済の対象
- ・ 救済に値しない貧民 → 救貧法

貧困の原因は「個人の問題」



はじめに

自分なりの職業観を養おう！



<目次>

- 慈善組織協会（COS）
- セツルメント
- ブースとラウントリーの貧困調査

セツルメント

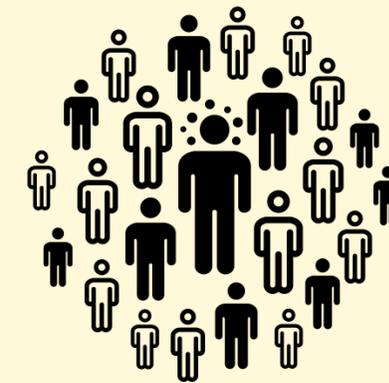
慈善組織協会

貧困の原因は「**個人の問題**」



セツルメント

貧困の原因は「**社会の問題**」



セツルメント

人格の交流

金品よりも人格を捧げよ



実際に貧困地区に住み込み
そこにいる人と生活を共にし
社会改良を目指した運動



セツルメント

※当時の東ロンドン 

イーストエンド（荒れ果てたロンドン）

バーネット夫妻（牧師）

オックスフォード大学

トインビーをはじめとした青年たち



共に

セツルメント

世界初セツルメントハウス トインビーホール



教育やレクリエーション 住民の生活の向上

社会調査 労働団体の支援 大学公開講座

児童クラブ 余暇指導 芸術クラブ 旅行クラブ

With People ～人々と共に

セツルメント

世界初セツルメントハウス
トインビーホール



世界中に広がる
アメリカや日本にも

ジェーン・アダムズ
ノーベル平和賞

世界中から視察
当時の著名人はここでつながる

はじめに

自分なりの職業観を養おう！



<目次>

- 慈善組織協会（COS）
- セツルメント
- ブースとラウントリーの貧困調査

ブース・ラウントリーの貧困調査

民間が主導の時代

事業で成功を収めた人が**私財**を使

って**社会貢献・社会改良**をする



代表例 ブース（汽船会社の実業家）

ラウントリー（チョコレート会社）

渋沢栄一 / 大原孫三郎



ブース・ラウントリーの貧困調査

ブース（汽船会社の実業家）



社会民主連盟が4分の1以上の人々が貧困



民衆の生活は向上しているはずだ！

当初は真逆の理由で調査をはじめ

ブース・ラウントリーの貧困調査

ブースの貧困調査

- 仕事を終えた後の時間を活用

- 17年間で、約33000ポンド
(AI日<20億以上)

- ロンドン市民 約420万人全員調査



ブース・ラウントリーの貧困調査

ブースの貧困調査



- 「**貧困線**」 という概念
- 約 3 割の人が**貧困線以下**で生活
- **貧困地図**（世帯をカテゴリーで色わけ）
- **貧困の原因**は「**雇用**」や「**環境**」

ブース・ラウントリーの貧困調査

ラウントリー（ヨーク市 7万人ほど）

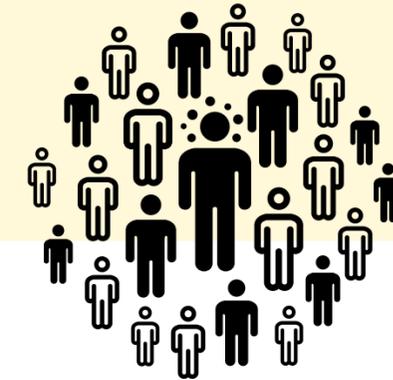
- **ブースを参考に同じく貧困調査**
- **マーケットバスケット方式**
栄養基準（最低生活費）で貧困を分類
- **第1次貧困と第2次貧困に分類**
- **ライフサイクル論**

おわりに

貧困観の変化と社会改革の機運



個人の問題 → 社会の問題



原因は雇用や環境問題



イギリスからはじまり
世界へと広がる



NEXT

